

報道関係各位

2021年1月18日

～with コロナの時代における個室型ビジネスブースに安心・安全をご提供～

可動式ブース向け住宅用下方放出型自動消火装置「霧筒 (kiritutu)」^{きりつつ}を発売

株式会社モリタホールディングス

当社の連結子会社であるモリタ宮田工業株式会社(本社:東京、代表取締役:中川龍太郎)は業界初となる可動式ブース向け住宅用下方放出型自動消火装置「霧筒 (kiritutu)」(きりつつ)を2021年1月18日(月)より販売開始いたします。



霧筒
kiritutu



「霧筒 (kiritutu)」



可動式ブース

近年、働き方改革の取り組みとしてテレワークの導入が推奨されてきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、導入する企業が一層増加しています。加えて、オフィス環境においても、3密を避け、人と人との接触を最小限に抑える対策の徹底が求められています。オフィスの会議室不足によるシェアオフィスの利用増加とともに、プライバシーに配慮しながらも、省スペースで快適な作業環境を提供する個室型のビジネスブース(可動式ブース)の需要も拡大しており、商業施設、駅構内等、様々な場所に設置されています。

このような多様化する社会のニーズに応えた商品においても、適切な防災設備を備え、安心・安全に利用できることが求められています。当社はその要望にお応えすべく、火災の感知から消火までを全自動で行う、可動式ブース向け住宅用下方放出型自動消火装置「霧筒 (kiritutu)」を開発しました。①ブースの床面積が 3 m²以下、②天井及び壁が不燃材料で仕上げられていること、③外部からブース内で発生した火災が目視等で確認できること、④点検による適切な維持管理がされていること、⑤火気設備が使用されないこと、⑥宿泊を目的としていないこと、※1⑦仮眠を伴う恐れのないこと等の条件を満たしていれば、「霧筒 (kiritutu)」を設置することで、スプリンクラーや自動火災報知機の設置が免除されます。

(※1.仮眠を伴うおそれがある場合でも、連動型住宅用防災警報器が有効に設置され適切に維持管理されていれば、「霧筒 (kiritutu)」を設置することで、スプリンクラーや自動火災報知機の設置が免除されます。)

本体には耐食性に優れたステンレス材を使用し、パイプ型の消火薬剤貯蔵容器を採用することで、省スペースでの設置が可能で、美観にもこだわったデザインとなっています。また、水の4倍の消火性能を持つ当社製の消火薬剤(第三種浸潤剤等入り水)を採用しており高い冷却、浸透性、再燃防止効果を発揮します。

■製品仕様

【種 別】	住宅用下方放出型自動消火装置
【薬 剤】	第三種浸潤剤等入り水 3L
【防 護 面 積】	3 m ²
【感 知 温 度】	72℃
【材 質】	ステンレス
【本体希望小売価格】	オープン価格
【目標販売台数】	1,500 台/年間

また、「霧筒(kiritutu)」は、2021年2月3日(水)～2月5日(金)に幕張メッセ(千葉県千葉市)にて開催される「第32回日本ものづくりワールド」内の「第3回工場設備・備品展」にて展示いたしますので、ぜひご来場くださいませ。

■展示会概要

【主 催 者】	リード エグジビション ジャパン株式会社
【展 示 会 名】	第3回 工場設備・備品展 (第32回 日本ものづくりワールド 内)
【開 催 期 間】	2021年2月3日(水)～2月5日(金)10:00～17:00
【会 場】	幕張メッセ(千葉県千葉市)6 ホール 小間番号:25-31
【入 場】	招待券持参により無料(事前登録にて無料入手可能)
【公式 Web】	https://www.japan-mfg.jp/ja-jp/about/factex.html

本件に関するお問合せ先

株式会社モリタホールディングス 広報室 担当:森田 TEL:03-6400-3485